

F SPORT PARTS (TRD)

MS342-53001/2/3

リヤスポイラー

取付・取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)リヤスポイラーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本商品を正しくお使い頂く為に、裏面の注意書と下記をよくお読みになった上で装着し、安全にご使用頂くよう、
お願い致します。なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS342-53001-A1	ホ仆ノグ アガラスレク (083)	IS200t F SPORT	GSE30	'13.05 ~	
MS342-53001-A2	ソックホーツ (085)				
MS342-53001-B0	ソックタニム (1J7)	IS250 F SPORT	GSE31		
MS342-53001-B2	ソックタニム (1J7)				
MS342-53001-C0	ブラック (212)	IS350 F SPORT	AVE30		
MS342-53001-C2	グレアイトブラック (223)				
MS342-53002-00	未塗装品 (プライマー処理品)	IS300h F SPORT	ASE30		
MS342-53003	共通品 (212)		AVE35		

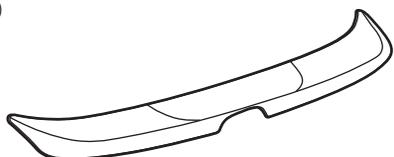
■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	リヤスポイラー		1	
②	クリップ		2	
③	パッキン		2	
④	型紙		1	A3シール
⑤	取付取扱要領書		1	本書

以下、MS342-53002-00 (未塗装品セット) のみに同梱

	部品名	品番	数量	備考
⑥	モール		各1	黒/グレー L=2900mm
⑦	PACプライマー		1	K-500

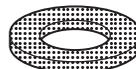
①



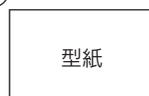
②



③



④



⑤



以下、MS342-53002-00 (未塗装品セット) のみに同梱

⑥



⑦



取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊖ やってはいけないこと

⓪ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ⓪ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ⓪ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



注意

- ⓪ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ⓪ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ⓪ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ⓪ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ⓪ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ⓪ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ⓪ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⓪ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊖ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ⓪ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ⓪ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ⓪ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ⓪ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ⓪ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

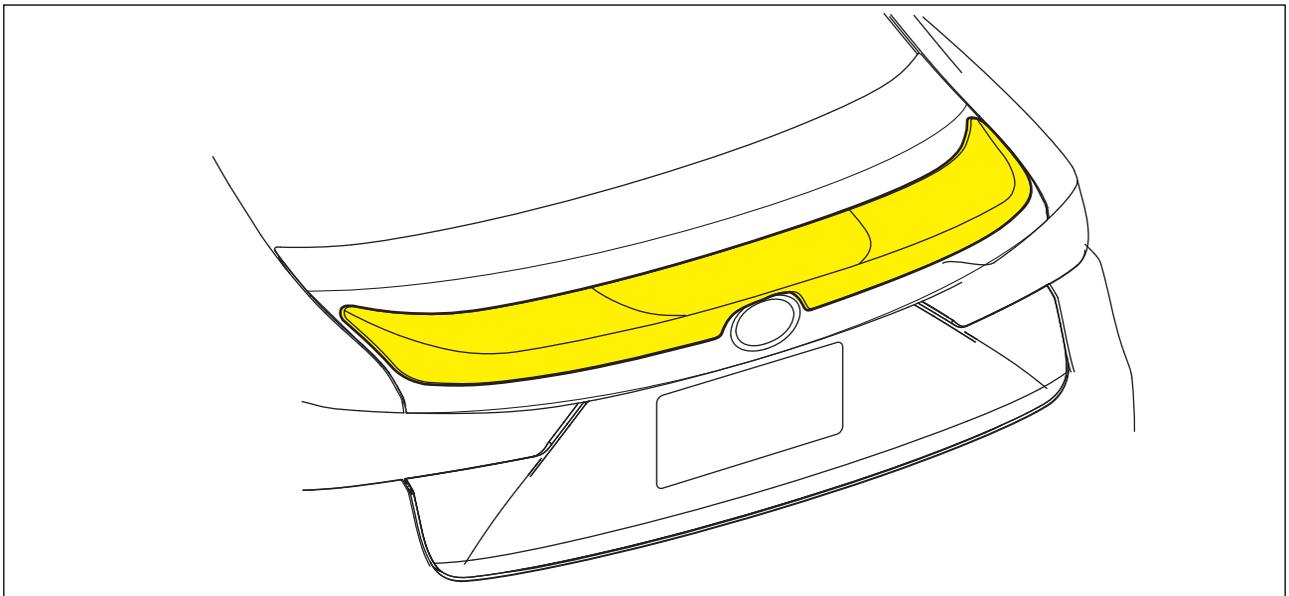
目次

- 1 . 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1
- 2 . 取付け上のご注意(作業の方へ) 2
- 3 . 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 3
- 4 . 取付け要領 4 ~ 7
- 5 . 取付け後の確認・点検 7

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

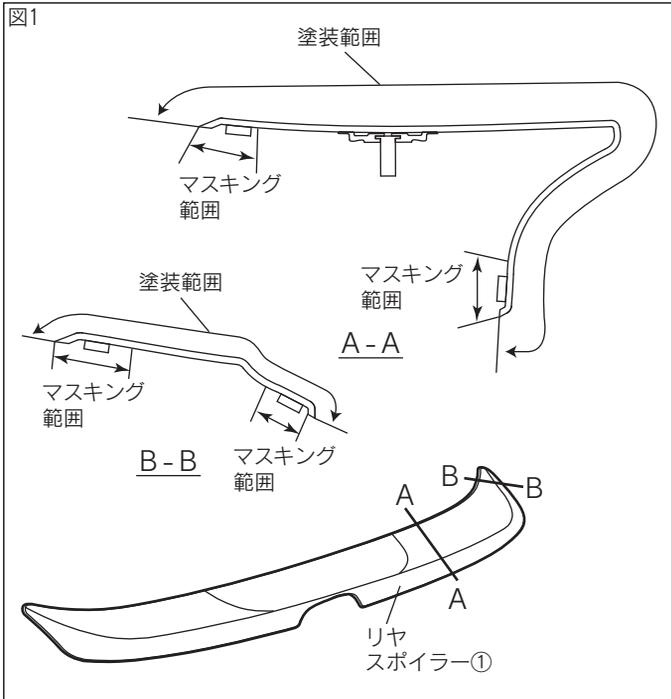
- ・加工用工具(ハサミ、カッター、ドリル、キリ、ホルソー等)・ヤスリ
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

取付構成図



■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS342-53002-00) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



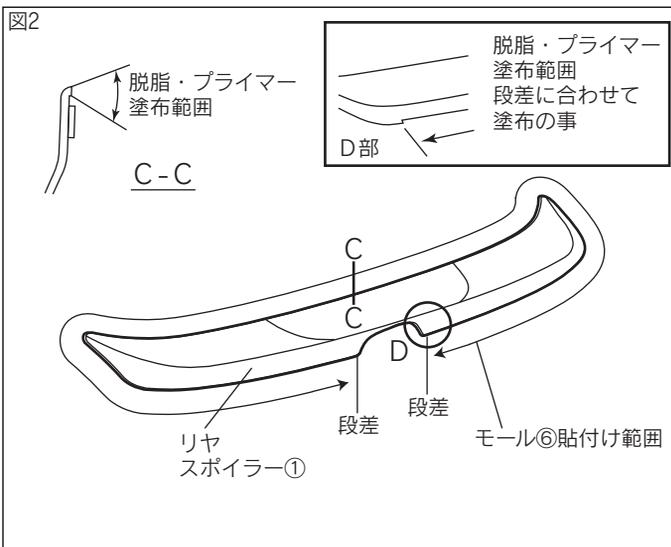
□リヤスポイラーの塗装

1. 図1のようにリヤスポイラー①を塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。
サーフェーサーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。
接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：焼付け塗装の際、焼付け温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、焼付け温度には充分注意してください。
強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

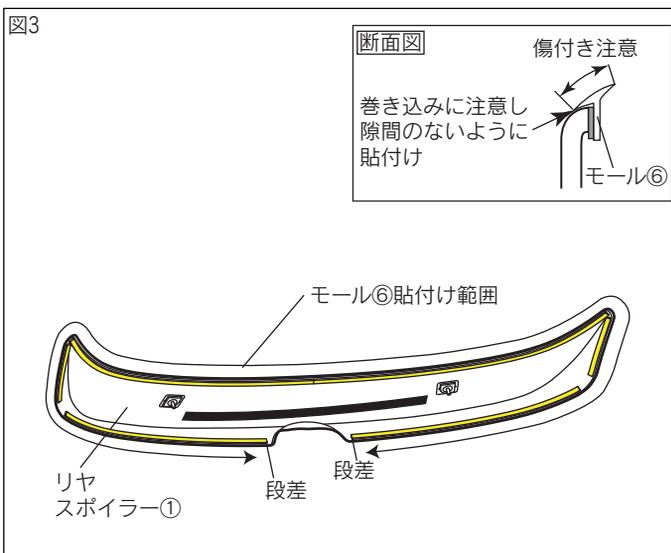


□モールの貼付け

1. 図2のようにモール貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑦を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残し、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

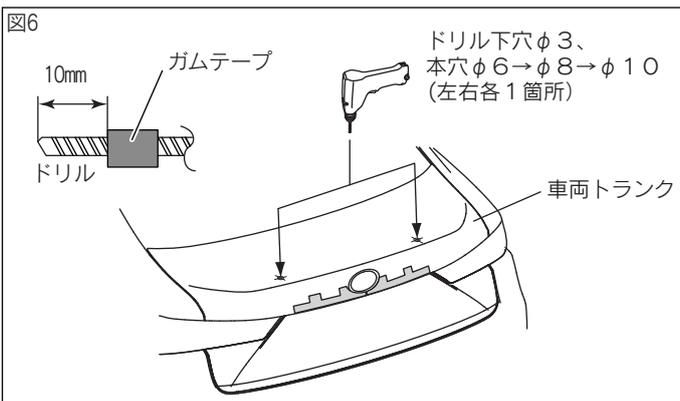
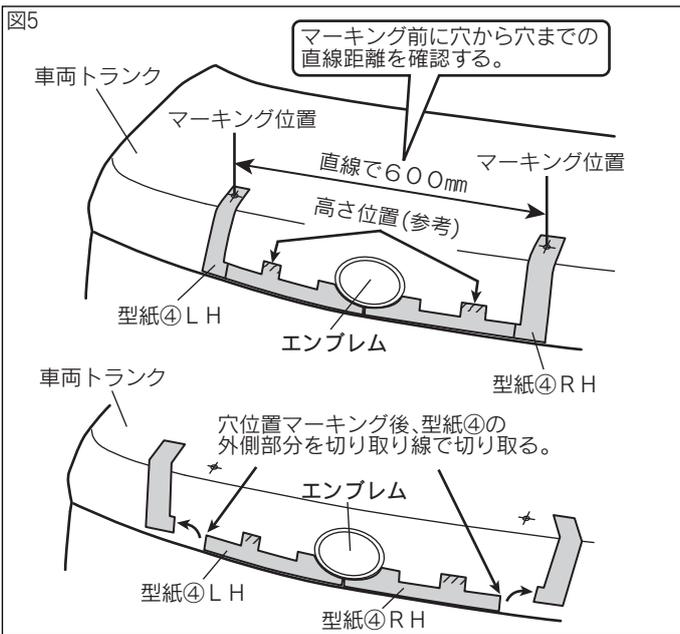
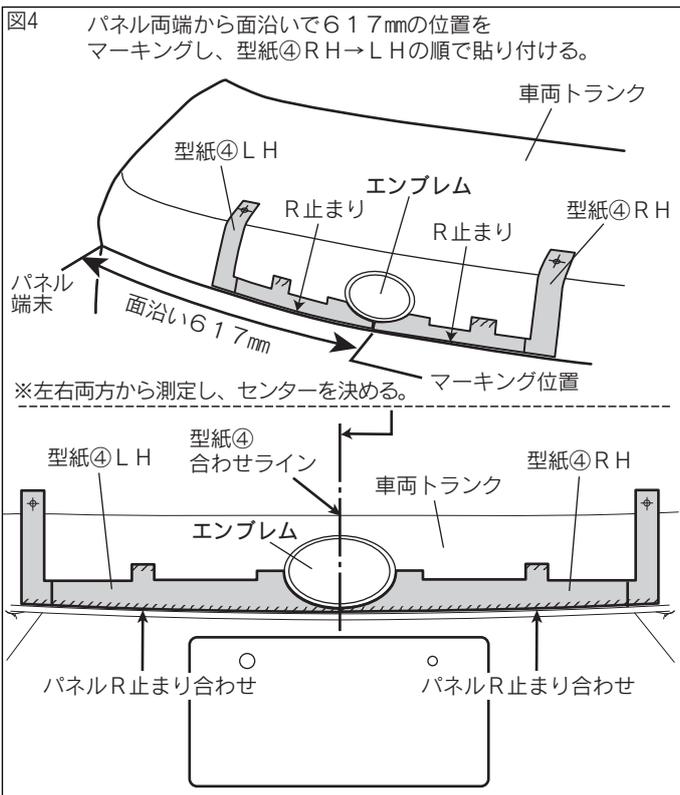
👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



2. 図3のようにリヤスポイラー①に、モール⑥の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け {49N (5kgf) 以上} 圧着する。
モールは長めに設定されているので、長さ合わせてハサミ等で切り落とす。

👉アドバイス：モール⑥は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。

△注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているので、テープ面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けてください。



□リヤスポイラー取付準備

1. 車両トランクの内張りを取外す。

△注意：内張りを取外す際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

△注意：内張りを取外さずに穴あけ加工を行うと、トランク内の配線等を傷つけるため注意してください。

2. 図4のようにパネル両端から面沿いで617mmの位置を測定し、型紙④の貼り初め位置のセンターを決める。

👉アドバイス：パネル面に沿うように測定しないと、正しい位置にマーキングできませんので注意してください。

3. 図4のようにパネル中央のマーキング位置とパネル下側のR止まりに合わせ、型紙④をRH→LHの順で貼り付けます。

4. 図5のように型紙④RHとLHの穴位置から穴位置までの直線距離を確認してから、穴位置にキリ等でマーキングする。
(左右各1箇所)

5. 図5のように型紙④の外側部分を切り取り線で切り取る。
(左右各1箇所)

△注意：型紙④の中央側は、リヤスポイラー①の取り付け高さ出しに必要な参考位置となる為、作業終了まで剥がさないでください。

6. 図6のようにφ3、φ6、φ8、φ10のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻つけ、φ3のドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。
(左右各1箇所)

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

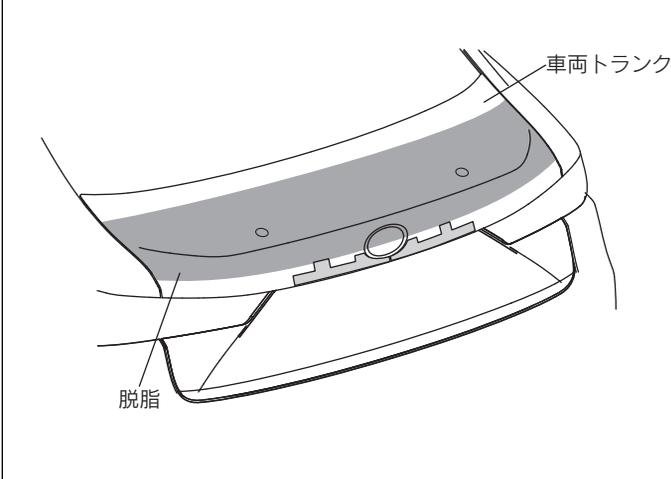
△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きにならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

△注意：穴あけ加工時は、車両トランク内の配線等を傷つけないように注意してください。

7. 図6のように下穴にφ6、φ8、φ10の順でドリルで本穴をあけます。穴のバリを取り除き、タッチアップペイント等で防錆処理をする。
(左右各1箇所)

図7

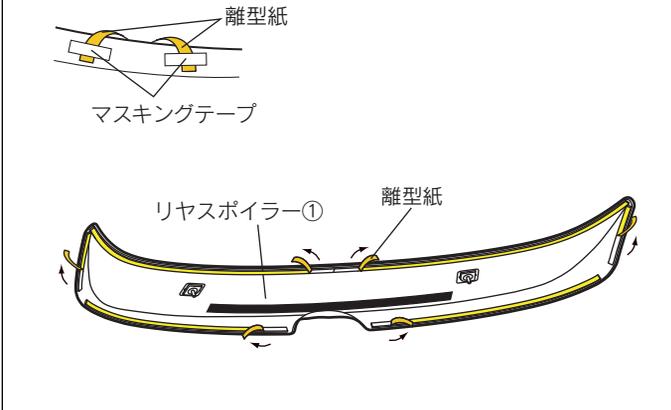


8. 図7のように車両トランクのリヤスポイラー①取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂します。

⚠警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

⚠注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

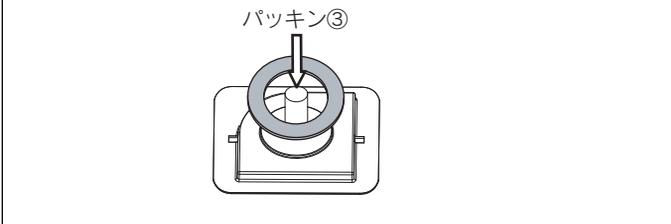
図8



9. リヤスポイラー①の両面テープの離型紙を、図8のように中央から外側に約30mm剥がし(左右各3箇所)、マスキングテープ等で表側に貼付けます。

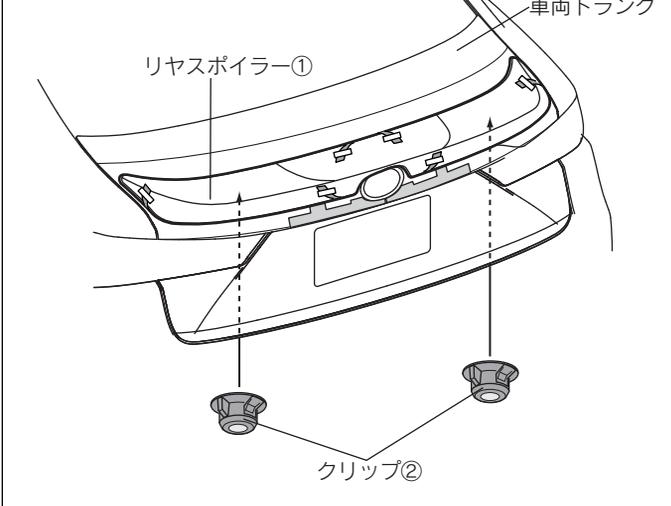
⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図9



10. リヤスポイラー①のボルト座面に図9のようにパッキン③を貼付ける。(左右各1箇所)

図10



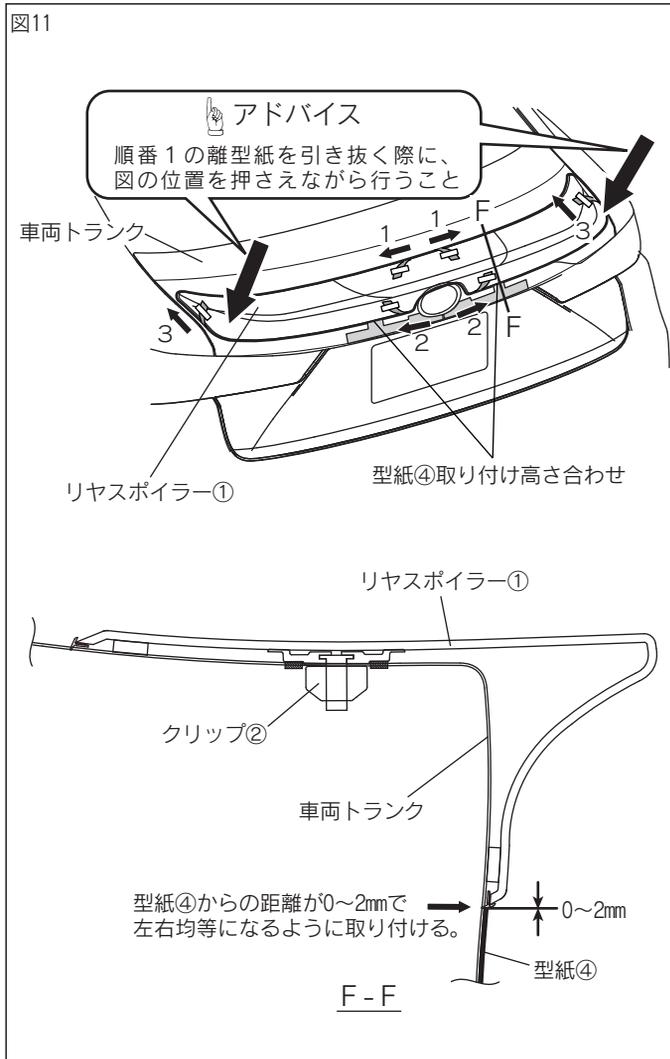
□取付要領

1. リヤスポイラー①を車両トランクに合わせ、車両トランクの内側からクリップ②を押し込む。(左右各1箇所)

⚠注意：クリップ②以外のナット等での取付けはしないでください。

⚠注意：クリップ②取付けの際、トランクパネルの末端で怪我しないよう、注意してください。

図11



2. 図11のようにリヤスポイラー①が左右中心の位置にきているかパネル両端からの寸法を確認し、下端の取付高さ位置を型紙④の高さ位置に対して、0~2mmで左右均等になるように合わせ、両面テープの離型紙(左右各3箇所)を左図番号順に剥がしながら貼付け圧着します。
{ 49N (5kgf) 以上 }
3. クリップ②を手で増し締めします。

⚠注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているため、テープ面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けてください。

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

4. 取り付け高さ出しに用いた型紙④を剥がします。
5. 車両トランクの内張りを復元してください。

⚠注意：内張りを復元する際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

■取付完了後の点検・注意事項

1. リヤスポイラーがクリップにて、車両に確実に取付けられているか点検してください。
2. リヤスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検してください。